



決算説明会

2024年12月期(第17期)第3四半期

2024年11月 東証 グロース: 4579

ご注意: 本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また、本資料内の免責事項を必ずご参照ください。

免責事項

- ◆ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。 これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果 を招き得る不確実性を含んでおります。
- ◆ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品(研究開発プログラムおよび化合物)に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題等が含まれますが、これらに限定されるものではありません。





- 1. ビジネスハイライト
- 2. 第3四半期連結業績
- 3. 上市製品の状況
- 4. パイプラインの状況
- 5. 成長戦略
- 6. 資金の状況と配分



1 ビジネスハイライト

ビジネスハイライト

経営成績

事業収益 2,369百万円(前年同期比 58.4%増)

● 営業損失 27百万円、経常損失 231百万円、四半期純損失 339百万円、EBITDA 251百万円

上市品の状況

テゴプラザンのグローバル展開は順調に拡大中

- 韓国での好調な売上:前年同期比24.6%増で、引き続き消化性潰瘍剤の韓国国内シェアNo.1
- 世界10カ国¹⁾で販売中(2024年10月 コロンビアでの発売により10カ国に増加)
- 中南米諸国における承認国の増加:上半期の6カ国での販売承認に続き、3Qも新たに3カ国で承認

ペット用医薬品でも販売地域の拡大

● ELURA®: フランスで製品発売(製品名: Eluracat®)。一時金2百万米ドルを計上。日本国内でも近日発売を見込む(製品名:エルーラ®)

パイプライン進捗

新規ナトリウムチャネル遮断薬の開発進展(2024年10月)

● 開発マイルストンの達成によって久光製薬から一時金1億円を受領することが確定

子会社

ファイメクス:研究協力金収入を計上 テムリック:タミバロテンの臨床試験が進行中

● 急性骨髄性白血病(AML):Syros社がフェーズ 2 試験結果と患者組み入れ中止を発表(2024年8月)

● 骨髄異形成症候群(MDS): フェーズ 3 試験結果と試験中止についてSyros社が発表(2024年11月)

¹⁾ 韓国、中国、フィリピン、モンゴル、メキシコ、インドネシア、シンガポール、ペルー、チリ、コロンビア(2024年10月発売)



2

第3四半期連結業績



2024年12月期 第3四半期連結業績概要

决算説明会

2024年12月期 第3四半期

単位:百万円

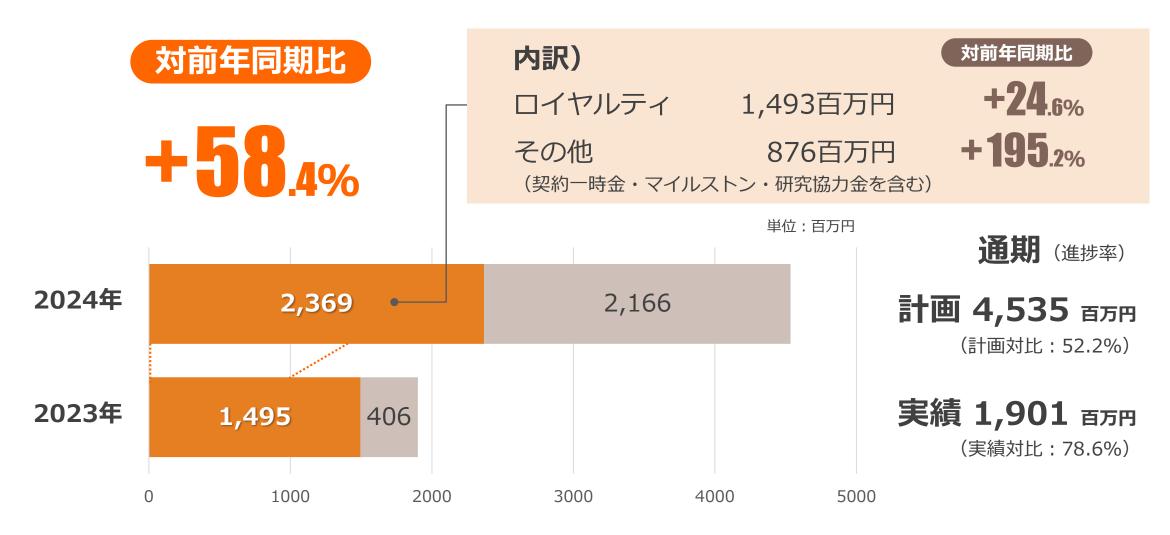
	2023年12月期 第3四半期(1-9月)	2024年12月期 第3四半期(1-9月)	対前年同期比 増減
事業収益	1,495	2,369	+874
営業利益	△108	△27	+81
経常利益	△36	△231	△195
親会社株主に帰属する 中間純利益	△117	△339	△222
EBITDA ¹⁾	12	251	239

¹⁾ EBITDA: 利払・税引・減価償却前利益



事業収益概要

通期計画 4,535百万円に対して当第3四半期までに 2,369百万円を計上



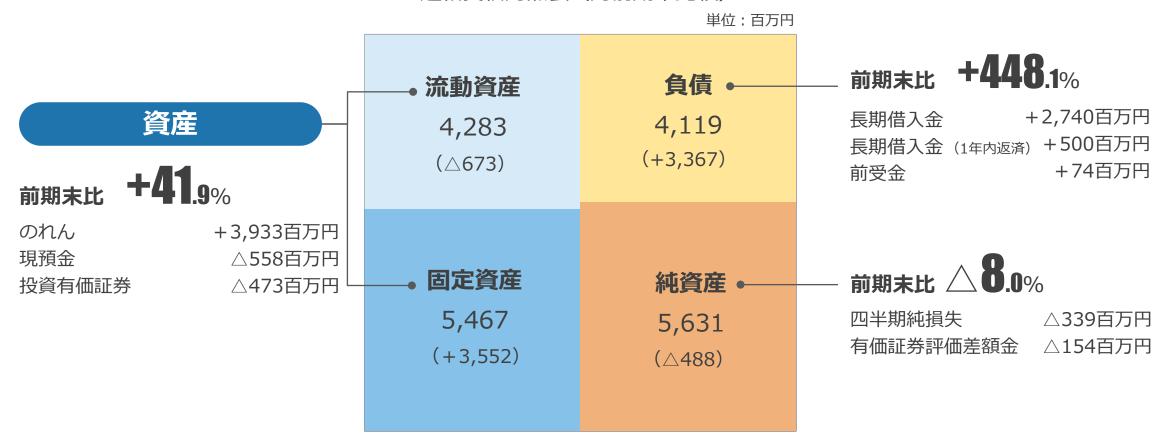


連結貸借対照表

ファイメクスの子会社化に関連して資産と負債が大幅に増加

自己資本比率 57.5% (前期末比 31.2ポイント減)

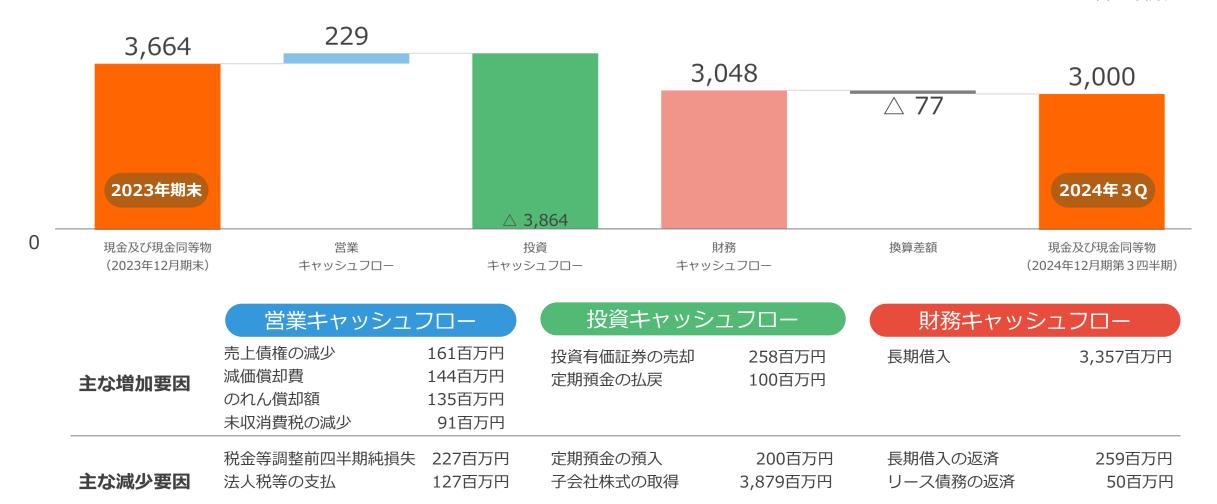
連結貸借対照表(対前期末比較)



キャッシュフロー

現金および現金同等物は前期末比664百万円減少(18.1%減)

単位:百万円





3 上市製品の状況

当社発の医薬品4製品



種別	一般名・作用機序	適応症	製品名・販売元
ト用	テゴプラザン カリウムイオン競合型 アシッドブロッカー (P-CAB)	・胃食道逆流症・胃潰瘍・十二指腸潰瘍ほか	K-CAB [®] (韓国) HK inno.N Corporation タイシンザン 泰欣赞 [®] (中国) Shandong Luoxin Pharmaceutical Group Stock Co., Ltd. ほか
ペット用	グラピプラント EP4拮抗薬	• 犬の慢性骨関節炎	GALLIPRANT®(日米欧ほか) Elanco Animal Health Inc.
	カプロモレリン グレリン受容体 作動薬	• 犬の食欲不振	ENTYCE® (米国) Elanco Animal Health Inc.
		• 猫の体重減少管理 ¹⁾	ELURA® (米国) Eluracat® (欧州) エルーラ® (日本) Elanco Animal Health Inc. ※日本は発売準備中

¹⁾ 適応症は国・地域によって異なり、米国では「慢性腎疾患またはその他の慢性疾患を伴う猫の体重減少管理」となっています。



胃酸分泌抑制剤 テゴプラザン

2024年12月期 第3四半期

(2024年10月31日現在)



カリウムイオン競合型アシッドブロッカー(P-CAB)

一般	2名	tegoprazan (テゴプラザン)
適応	症	胃食道逆流症、消化性潰瘍、ピロリ菌除菌療法(ほか)
販売	元	HK inno.N Corporation(韓国/HKイノエン社) Shandong Luoxin Pharmaceutical Group Stock Co., Ltd. (中国/Luoxin社)ほか
製品	占名	K-CAB®(韓国ほか)、泰欣赞®(中国)、Ki-CAB®(メキシコほか)



胃酸に関わる疾患は数多い

びらん性胃食道逆流症 (GERD) 、胃潰瘍 ヘリコバクター・ピロリ感染症 など



- ✓ 服用30分以内の速やかな効果
- ✓ 最長6カ国の長期服用でも有効性・安全性が持続
- ✓ 強力な胃酸分泌抑制能
- ✓ 低い薬物相互作用



世界の消化性潰瘍剤の市場は2兆円規模 1)

中国 4,500億円 1)、米国 4,000億円 1)、日本 2,500億円



日本を除く地域の権利をHKイノエン社に許諾

当社は開発の進捗に応じたマイルストン/製品売上に応じた ロイヤルティを受け取る



韓国・中国など10カ国2)で販売中

このほか36カ国に進出

1) 出所: HKイノエン社IR資料「韓国版」(2023年11月), 換算レート: 1 韓国ウォン=0.11円 2) 韓国、中国、フィリピン、モンゴル、メキシコ、インドネシア、シンガポール、ペルー、チリ、コロンビア(2024年10月発売)



2019

2020

2021

2022

2023

テゴプラザンのグローバル展開の状況

決算説明会

2024年12月期 第3四半期

46ヵ国に進出:承認国も順調に拡大し、全世界に進展中

(2024年10月31日現在)



※1:院外処方実績(暫定値を含む) 換算レート:1韓国ウォン=0.11円

2024 1-9月 中東・北アフリカ地域



ペット用医薬品3製品



EP4拮抗薬

GALLIPRANT®

日米欧ほかで販売中

一般名	grapiprant (グラピプラント)			
適応症	犬の慢性骨関節炎			
販売元	Elanco Animal Health, Inc.(米国/Elanco社)			



グレリン受容体作動薬

ENTYCE®

ELURA®

米国で販売中

米国・欧州で販売中

一般名	capromorelin (カプロモレリン)			
適応症	犬の食欲不振(ENTYCE®) 猫の体重減少管理 ¹⁾ (ELURA®)			
販売元	Elanco社			



2024年8月 ELURA®がフランスで販売開始(製品名: Eluracat®) 当社は一時金200百万米ドルを受領

NEXT→日本で販売準備中。近日発売見込み(製品名:エルーラ®)



4)パイプラインの状況



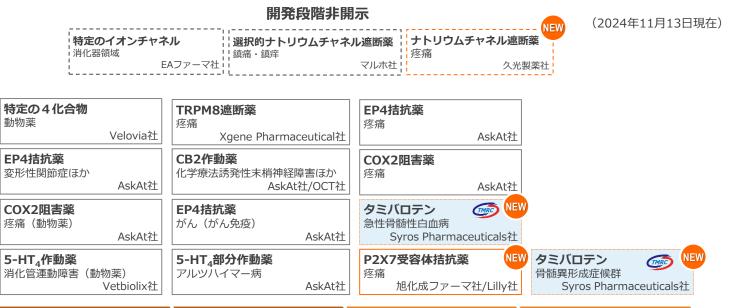
パイプライン一覧

決算説明会

2024年12月期 第3四半期



- 7月 P2X7受容体拮抗薬のフェーズ2試験 結果が臨床試験データベースで公開
- 8月 タミバロテンの急性骨髄性白血病 (AML)を対象としたフェーズ 2 試験結果と患者組入中止を発表
- 10月 ナトリウムチャネル遮断薬が 開発マイルストンを達成し、 久光製薬社からの一時金1億円受領確定
- **11月** タミバロテンの骨髄性異形成症候群 (MDS) を対象としたフェーズ3試験 の結果と試験中止について発表



前臨床

フェーズ1 (第I相/P1) フェーズ2 (第Ⅱ相/P2) フェーズ3 (第Ⅲ相/P3)

モチリン受容体作動薬

胃不全麻痺ほか

出

導

出

準

グレリン受容体作動薬

脊髄損傷に伴う便秘、 がんに伴う食欲不振・悪液質

TRPM8遮断薬(日本) 慢性疼痛

IRAK-M分解誘導薬 がん(がん免疫) テゴプラザン(日本)

胃食道逆流症ほか

5-HT₄作動薬 胃不全麻痺ほか

5-HT_{2B}拮抗薬

下痢型IBS

注1) 前臨床段階以降にあるプログラムについて標的疾患ごとにわけて表示しています。

注2) 国・地域によって開発段階に差がある場合は、最も進んだ段階を表示しています。 詳細につきましては当社ウェブサイト(https://www.ragualia.com/ja/index.html)の「パイプライン」にてご確認ください。



導出プログラム P2X7受容体拮抗薬の概要と開発状況

2024年12月期 第3四半期

P2X7受容体拮抗薬 RQ-00466479/AK1780/LY3857210

特長

P2X7受容体に対する強い拮抗作用と中枢移行性を示し、経口投与が可能な新規化合物

導出先

当社の導出先である旭化成ファーマ株式会社(旭化成ファーマ社)からEli Lilly and Company(Lilly社)へ サブライセンス

ステージ フェーズ2試験段階(米国)

本プログラムの開発経緯

旭化成ファーマ社とラクオリア創薬が共同研究を開始

前臨床 118

RQ-00466479 (AK1780) を開発候補化合物に決定 旭化成ファーマ社とラクオリア創薬がライセンス契約を締結

→ 全世界を対象とした独占的な開発・製造・販売権を旭化成ファーマ社が取得

P 1

旭化成ファーマ社がAK1780のフェーズ1試験を実施

121 旭化成ファーマ社がLilly社とライセンス契約を締結

→ AK1780のグローバル開発はLilly社が実施

Lilly社がフェーズ 2 試験を開始(化合物コード: LY3857210)

■現在 LY3857210の3試験の結果公開

現在の状況

- Lilly社が米国で実施した3つの疾患に関する LY3857210のフェーズ2試験終了
 - 変形性関節症による膝の痛み
 - 慢性腰痛症
 - 糖尿病性神経障害性疼痛
- 臨床試験結果がClinicalTrials.govで公開済
 - 有効性:主要評価項目未達(プラセボに 対する優位性認められず)
 - 安全性:大きな問題なく良好
- 現在Lilly社はLY3857210に関する今後の開発計 画を検討中



子会社 テムリック タミバロテンの開発状況



2024年12月期 第3四半期

タミバロテン TM-411/AM80/SY-1425

作用機序 レチノイン酸受容体のアルファサブタイプ RARα の選択的作動薬

製品日標 RARαをバイオマーカーとしたPrecision Medicineによる新薬承認

権利状況 がん適応の北米および欧州における開発・販売権: Syros Pharmaceuticals Inc. (米国)



Syros社によるタミバロテンの開発状況

Unfit²⁾急性骨髄性白血病(unfit-AML)

フェーズ 2 試験 "SELECT-AML-1"

未治療unfit-AMLを対象としたベネトクラクス・アザシチジンとの併用

2023年12月

無作為化19名の初期データを発表

2024年8月

NEW → 無益性解析¹⁾クリアならず

→ 被験者の組み入れ中止

高リスク骨髄異形成症候群(HR-MDS)

フェーズ 3 試験 "SELECT-MDS-1"

未治療HR-MDSを対象としたアザシチジンとの併用

2024年1Q

主要評価項目 完全寬解 (CR) 率の解析に必要な被験者 (190名)の組み入れ完了

2024年11月13日

主要評価項目の結果をSyros社が発表



臨床データを精査し今後の対応を検討

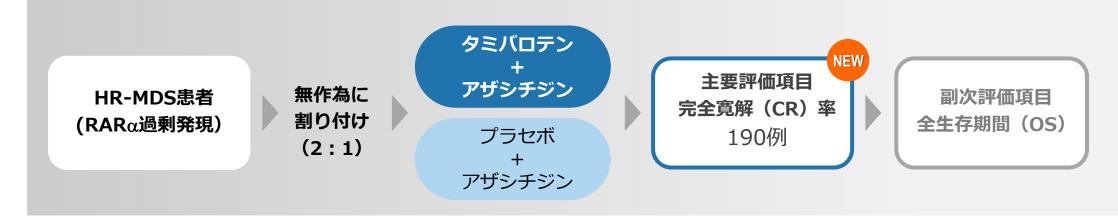
出所: Syros Pharmaceuticals, Inc.; Corporate Presentation, Press-releases 予測し試験継続の要否を判断する:2)unfit:高齢者などで標準化学療法に適さない患者さんの状態



子会社 テムリック | SELECT-MDS-1

フェーズ3試験 SELECT-MDS-1の試験デザイン

二重盲検プラセボ対照グローバル試験(米国を中心とする13カ国、130施設)



主要評価項目(完全寬解率(CR率))

 工会計画項目 (元主見所华 (CK华))
 95% CI: 95%信頼区間

 タミバロテン+アザシチジン
 プラセボ+アザシチジン

 18.8%
 (n=126, 95% CI: 16.7-32.2%)
 (n=64, 95% CI: 10.1-30.5%)

安全性・有害事象

● 忍容性は概ね良好。有害事象は以前に実施された試験と同様



主要プログラムの想定イベント

2024年12月期 第3四半期

プログラム		前臨床	フェーズ 1	フェーズ2	フェーズ3	承認審査	今後6カ国の想定イベント	導出先
ELURA ® ネコの体重減少	•			[欧州販売中・	日本承認	日本国内での発売	Elanco社
テゴプラザン				P3	実施中		P3終了	HKイノエン社 Braintree社
胃酸分泌抑制剤	•		P1終了				導出契約	※導出活動中
タミバロテン 抗悪性腫瘍薬 <i>MDS</i>				P3	実施中		P3 試験結果を受けた 対応	Syros社
P2X7受容体拮抗薬 疼痛				P2終了			開発計画の再検討	旭化成ファーマ社 Lilly社
CB2作動薬 CIPN/IBSに伴う疼痛		P1実施	中				次段階の臨床試験	AskAt社 OCT社
TRPM8遮断薬 慢性疼痛	* ;	P1開始					P1試験結果	Xgene社
グレリン 受容体作動薬 便秘、悪液質		前臨床試験 実施中					前臨床試験完了	※自社開発

※お問い合わせ件数などに基づき、投資家の皆様の注目度が高いと当社が判断したプログラムに限定してお示ししています。 想定される進捗イベントの内容や時期は、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。





成長戦略

企業価値・株主価値の向上に向けて

未開拓の創薬標的への挑戦

アンドラッガブルをドラッガブルへ

新規モダリティやインフォマティクス・AIの創薬応用等の新技術が領域を拡大

ドラッガブルとは、化合物・抗体等の物質により受容体等の標的の分子の機能を調節できる可能性が高いことを意味し、

ドラッガブルかそうでないかによって新薬候補を生み出せるかどうかが大きく左右されます。

創薬バリューチェーン強化のための戦略投資

2024年12月期 第3四半期

M&Aやアライアンスを活用し 低分子創薬技術の拡張や新規モダリティによる創薬を実現



ラクオリア創薬株式会社

- · 低分子創薬技術
- ・創薬事業の基盤や ノウハウ

M&A

(子会社)



ファイメクス株式会社

タンパク質分解誘導剤

他社との共同研究プログラム が進行中

自社創薬: IRAK-M ほか

共同研究



株式会社 Veritas In Silico

mRNA標的低分子

がん領域における創薬共同 研究を実施中(探索段階)

共同研究

(資本業務提携)



STAND Therapeutics 株式会社

細胞内抗体 (Intrabody)

※共同研究内容は非開示



子会社 ファイメクス | TPD技術を応用した創薬



2024年12月期 第3四半期

決算説明会

Rapid Protein Proteolysis Inducer Discovery System





標的タンパク質分解誘導剤の探索

- 2024年5月:初期目標達成によりアステラス製薬から 一時金(2億円)を受領(5月)
- 期間を通じて研究協力金収入も獲得

アンドラッガブルターゲットを標的とした自社創薬

- ファーストインクラスの開発候補品の創出
- プラットフォーム技術の付加価値向上

これからのラクオリアが目指す創薬研究

決算説明会

2024年12月期 第3四半期



既存の創薬研究基盤の アップデート

オープン イノベーション

創薬バリューチェーンの強化

疾患領域

神経疾患・遺伝性疾患

希少疾患・がん

経営資源

優秀な人材

イノベーションエンジン

モダリティ

低分子モダリティの拡張

新規モダリティの導入

アンドラッガブルをドラッガブルへ



6 資金の状況と配分

資金の状況と配分

2024年12月期 第3四半期

(2024年9月30日現在)

資金の状況

2024年~2026年の 事業収益見通し

144億円

手元資金 (2024年第3四半期末)

40億円

借入余力 (コミットメントライン)

7億円

エクイティ調達 (新株予約権:計画)

20億円

資金の配分

株主還元

探索研究投資¹⁾ (既存領域の拡充)

58億円 (3カ年)

前臨床・臨床開発投資¹⁾ (プロジェクトの価値向上)

企業価値最大

化に

向け

た投資

17億円 (3力年

設備投資

(既存設備の拡充・DX投資等)

戦略投資

(創薬技術・パイプラインの獲得等)

株主配当金

財務基盤強化に応じて実施予定

自己株式の取得

機動的に検討

1) 人件費を含みます。

株式時価総額向上のロードマップ

2024年12月期 第3四半期

成長戦略により当社グループを大きく成長させ、株主価値の向上を実現する

(2024年10月末日時点の時価総額:107億1,119万円)

時価総額 300億円 (株価¹⁾ 1,386 円)

個人投資家

テゴプラザン:日本導出

グレリン: 自社開発の進展

創薬研究基盤の強化

成長投資により 成長可能性を追求

- ✓ 新たな投資家の獲得
- ✓ 明確な成長ストーリー

時価総額 500億円 (株価¹⁾ 2,310 円)

国内機関投資家中小型株ファンド

継続的な導出契約締結

ファイメクスが当社収益に寄与

開発パイプラインの拡充

ベンチマーク指標MSCI²⁾への採用 を目指す

- ✓ 機関投資家目線の情報発信
- ✓ IR体制の強化

時価総額 **1,000億円** (株価¹⁾ 4,621 円)

> 海外機関投資家 大型株ファンド

収益性のさらなる拡大

- ・ロイヤルティの最大化
- ・契約の大型化

資本市場へのフルアクセスでさら なる時価総額向上へ

- ✓ 長期安定株主の確保
- ✓ 海外機関投資家の獲得

- 1) 2024年10月末日時点における発行株式数(21,638,781株)に基づき算出
- 2) MSCI: MSCI(モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社)が公表する指数

イノベーションの力で、いのちに陽をもたらす



ラクオリア創薬株式会社